

新春対談 市長×市民記者

市民記者の秋山さん、吉井さんが、岡部市長に今後の市政運営について聞きました。

平成25年を振り返って

(秋山・吉井) さのまるのゆるキャラグランプリでのグランプリ獲得、おめでとうございます！

(市長) 私も本当にびっくりしたのですが、皆さんのおかげでグランプリを獲得できました。さのまるに代わって御礼申し上げます。ありがとうございます。

なんととっても自然と笑顔になる、さのまるの可愛らしさを支持していただけたものと思います。今後、さのまるを日本全国に広め、皆さんに笑顔をお届けしたいと思います。これからさのまるをよろしく願います。

(吉井) 昨年は佐野市の偉人、田中正造翁の没後百年であり、正造翁の功績を広く市内外にアピールできたかと思いますが、今後はどのようにお考えですか。
(市長) 正造翁の没後百年の顕彰事業につきましては、各団体の皆さんとよくお話をし、協力してさまざまな事業を行いました。なかでも記念演劇は総勢130人以上が出演するスケールの大

きな舞台で皆さんに喝采していただきました。

正造翁の功績を振り返ると、環境問題の先駆者としての顔があります。今後も正造翁の功績を顕彰していく中で、市としても昨年創設した環境問題に取り組む団体を表彰する「田中正造記念賞」を継続し、正造翁の思いを引き継いでいきたいと思えます。

(吉井) 昨年10月には新庁舎の建設工事が始まりましたね。市民のみならず、観光客の皆さんが立ち寄れるようなところにしてもらいたいです。

(市長) 新庁舎には、市民の皆さんの声を聴きながら計画した「市民活動スペース」や「佐野市紹介スペース」を1階に配置します。市民の皆さんだけでなく観光客の皆さんにも立ち寄っていただけるかと思えます。

最上階の7階は議会フロアとなりますが、展望スペースを設置しますので、気象条件が整えば富士山や東京スカイツリーなどを眺望できるかと思えます。



市民記者
吉井貴子さん

現在、仮庁舎で市民の皆さんにご迷惑をおかけしています。行政の要であり、防災・災害対策の拠点、そして誰もが利用しやすい新庁舎の建設を速やかに進めていきます。

(秋山) 近年突然の大雨や竜巻など、自然災害の脅威を感じています。災害が発生した時の対応も大切ですが、環境問題に取り組むことも大切かと考えますがいかがでしょうか？

(市長) 佐野市は温暖で、気象が安定した地といわれています。わたしも地の利を感じています。が、いつ起こるかかわからない災害に備え、市内の主要避難所に開設担当職員を指定し、参集訓練を実施するなど安全安心なまちづくりに努めています。

また、昨今の異常気象などは「地球温暖化」の影響といわれ、



一朝一夕では解決できない問題です。正造翁の「真の文明八山を荒さず川を荒さず村を破らざるを殺さざるべし」という言葉の具体的な取り組みとして、地球温暖化防止につながる再生可能エネルギーの導入支援やごみの3Rの推進など環境に配慮した施策を進めていきます。

「スポーツ立市」について

(秋山) 2020年東京オリンピックが決まりました。市長は「スポーツ立市」ということをお話しされていますが、これはどのようなことなのでしょうか。

(市長) スポーツは、健康増進にとどまらず、私たちに夢や希望を与えるさまざまな力を持っており、自ら行う「するスポーツ」、トップレベルの試合を観戦する「観るスポーツ」、大会などの運営などを支援する「支えるスポー

ツ」など、多くの人々がそれぞれの立場からスポーツに参加することが出来ます。

スポーツの基盤であり地域のコミュニティをつなぐ「生涯スポーツの振興」と、トップ選手を育てる「競技スポーツの振興」、また、スポーツと観光事業を結び付け、賑わいを創出する「スポーツツーリズムの推進」を図っていくことにより、スポーツで人が集い、地域が輝く、活力溢れる交流拠点都市を作っていくたいと考えています。

(吉井) 旧田沼高校の跡地を合宿所付の運動施設とする話を耳にしました。

(市長) 旧田沼高校跡地の利用については、スポーツを中心とした利活用の検討を行っています。昨年11月からグラウンドの開放を始めましたが、今後、栃木国体などのスポーツ大会の開催や、東京オリンピックの練習会場としての誘致、大学の運動部の練習合宿の受け入れなどさまざまな環境整備を行っていきたいと思います。特に本市には、

国際的なスポーツである、クリケットの事務局がありますので、クリケットの国際規模の大会の誘致にも取り組みたいと思います。

3期目の市政について

(秋山) 市長は昨年3期目に入られました。これまでの反省と、今後の抱負をお聞かせください。

(市長) 昨年はさのまるのグランプリ獲得、新庁舎の建設が始まり、佐野田沼インター産業団地の造成・第一期分譲予約なども順調に進んでいます。正造翁の没後百年顕彰事業も成功し、長年取り組んできた唐沢山城跡の国指定史跡化が答申されました。これまで種をまいて育んできたものが花を開きつつあることを実感しています。

3期目をお任せいただいた市民の皆さんのご期待に応えるため、より一層、気持ちを引き締めて、新たな決意と情熱をもって市勢発展のため取り組みます。わたしはリーディングプロジェクトとして「観光立市」・「スポーツ立市」を掲げています。

これは単に観光客を増やしたり、健康増進を図るといったことなく、観光やスポーツを軸に、「おもてなしの心」をもって、「住んでよし・訪れてよし」の佐野市を実現するためであります。

そのため、さのまるを先頭に佐野の良さを全国に広げる「都市ブランド」戦略を展開します。

また、わたしが1期目から取り組んでいます、「内陸の港」ともいえる「インランドポート」につまましては、この佐野市を物流拠点とすべく、関係機関との連携をより一層深め、実現を目指していきます。

今年も私の政治信条であります「対話・協調・融和」の精神で、市民の皆さんとともに、本市の将来像であります「育み支え合うひとびと、水と緑と万葉の地に広がる交流拠点都市」を目指したまちづくりに取り組みしていきます。

(秋山・吉井) 本日は、いろいろなお話をありがとうございました。これからもよろしくお願います。



市民記者
秋山久美子さん

